

イベント サイエンスアゴラ2018

AIからファッションまで幅広い話題を取り上げ 未来社会をみんなで共有

サイエンスアゴラは、日本最大級の科学と社会のオープンフォーラムです。科学者との対話や市民参加の科学討論などを通して、これからの「社会とともにある科学」、「科学とともにある社会」の在り方を皆で考え、よりよい未来社会に向けた明日の歩につなげていきます。

初日の11月9日(金)は日本科学未来館で開幕セレモニー、基調講演、キーノートセッションの3企画を実施します。11月10日(土)と11日(日)は、テレコムセンタービルに会場を移し、ブースとセッションの合計117企画を実施します。

Society5.0の実現に向けた先端技術の紹介や、AI時代の「考える力」を問うシンポジウム、地球規模課題を科学技術によって解決するアイデアの展示、女性宇宙飛行士を迎え理工系分野での女性の未来を語るイベントなどが予定されています。また、次世代の子供たちがSDGsを

考えるワークショップ、宇宙空間からの観測で災害に備える仕組み、ゲノム編集と食や医療の関係、発達障害児への支援、他人との感覚を共有する科学技術、特定の疾患を抱える人が快適な日常生活を送れるファッション素材の開発など、幅広い話題を取り上げ、これからの社会に必要な、多様な考え方を共有します。ぜひ会場で、未来につながる新しいインスピレーションをお持ち帰りください。

考えるワークショップ、宇宙空間からの観測で災害に備える仕組み、ゲノム編集と食や医療の関係、発達障害児への支援、他人との感覚を共有する科学技術、特定の疾患を抱える人が快適な日常生活を送れるファッション素材の開発など、幅広い話題を取り上げ、これからの社会に必要な、多様な考え方を共有します。ぜひ会場で、未来につながる新しいインスピレーションをお持ち帰りください。



「あらゆる制限を超えて75億人をつなぐ挑戦」 ～企業に閉じない、グローバルでチャレンジングな共創～

- 日時: 9日 13:30～14:30
- 場所: 日本科学未来館 7F未来館ホール(企画番号102)
- 主催: JST

航空運送事業の枠を超え、介護や防災などの分野で新しい価値の創出に取り組む「ANA Avatar(アバター)」のデジタルデザインラボのメンバーが、米国Xプライズ財団など世界中の多様なステークホルダーと連携して進める共創について語ります。



津田 佳明氏 (左)深堀 昂氏 (右)梶谷 ケビン氏

キーノートセッション

SDGs達成の先は何を見るか—未来の幸福をデザインする社会の共創

- 日時: 9日 14:45～16:15
- 場所: 日本科学未来館 7F未来館ホール(企画番号103)
- 主催: JST

国連の持続可能な開発目標(SDGs)達成の先にはどのような社会を見るか、その具体的な姿を明確に描くことで、今後取るべき手段が明らかになります。世界経済フォーラムでAI・機械学習プロジェクト長を務めるケイ・ファース・バタワフィールド氏(予定)をはじめ、社会課題解決の視点に基づいて国際的に活動する方々を迎え、これからの科学技術が描く未来の幸福の形と、行政、科学者、事業者、メディア、市民を含めた多様な人々との協働について議論します。



ケイ・ファース・バタワフィールド氏

PICK UP 科学者との対談、子供向けの理科実験、市民参加のワークショップ、各種展示など、誰もが参加できるプログラムが盛りだくさん! その中から注目の4つをご紹介します。

Fashion Tech Lab 発明のその先へ、最新テクノロジーと共にデザインする力。

- 日時: 10日 14:15～15:45
- 場所: テレコムセンタービル 1F アゴラステージ(出展番号105)
- 主催: Fashion Tech Lab デジタルハリウッド大学院

第4次産業革命におけるデザインエンジニアリングとファッションテックの重要性、また、ファッションと科学技術という組み合わせのユニークさを発見できます。日常的な問題が先になり、それを科学技術で解決し、さらにビジネスや文化的な潮流に結び付けるなど、研究成果の活用の可能性、他分野とのコラボによる発展性を目指しています。

サイボーグ、自動運転、洪水予測。未来の技術を使いこなせる?

- 日時: 10日～11日
- 場所: テレコムセンタービル 1F(出展番号104)
- 主催: 東京大学生産技術研究所 広報室

みんなの願いをかなえる技術を生み出そうと、日々ユニークな研究に没頭する、東京大学生産技術研究所の若手研究者が、技術開発の最先端を紹介します。また、もっと快適にその技術を使うために、どんな工夫があったらよいでしょうか。皆さんの声が、将来の技術の形を決めるかもしれません!

Social Haptics: 身体感覚の共有による共感的コミュニティの創出に向けて

- 日時: 11日 10:15～11:45
- 場所: テレコムセンタービル 1F アゴラステージ(出展番号107)
- 主催: JST

近年目覚ましく進化する、触れ合いや生体情報などの身体感覚を共有するテクノロジー。1つの体験をみんなで共有したり、他者の経験を自分事化したりすることで、共感でつながる新たなコミュニティのスタイルが築かれる可能性を、情報学、社会学、心理学などさまざまな専門分野の研究者が集まって議論します。

女子が広げるSTEMの未来 —STEM Girls Ambassadors トークセッション

- 日時: 10日 10:30～12:00
- 場所: テレコムセンタービル 20F会議室1(出展番号146)
- 主催: 内閣府男女共同参画局、JST

社会の至る所で理工系女性の活躍が期待されています。今年、内閣府は、理工系分野で広く活躍する女性7名をSTEM Girls Ambassadors(理工系女子応援大使)として任命しました。ズナイデン房子氏、玉城絵美氏、山崎直子氏、渡辺美代子氏が、女性参画を前提とした夢のある未来を自由に語り合います。

会期: 11月9日(金)～11日(日) 10:00～16:00(初日は13:00～16:15)
会場: 日本科学未来館(初日)、テレコムセンタービル(2～3日目) WEBサイト: <https://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

話題 知識基盤情報部

JREC-IN PortalがEURAXESSと 研究人材公募情報のデータ連携を開始

JREC-IN Portalは欧州の研究者支援サービスEURAXESS(ユーラックス)とのデータ連携を、今年8月より開始しました。

JREC-IN Portalは、研究者や研究支援者、技術者などの研究人材を対象に、求人公募情報をはじめ、キャリアに関するさまざまな情報を提供しています。EURAXESSは、欧州委員会が運用するEU領域内での研究者の流動促進を目的としたサービスで、その一環としてEU領域内の研究人材の公募情報を集約し公開しています。今回、JREC-IN PortalとEURAXESSは求人公募情報の一部を互いに提供し合い、Webサイト上で検索することが可能になりました。

研究人材が分野、組織、国境などのさまざまな壁を越えて流動することで新たな知恵を紡ぎ出し、社会にイノベーションを興すことが求められています。この連携により、EU領域内の研究者が日本、日本の研究者が領域内の求人に応募する機会が増え、双方の間でより活発な研究人材の流動が期待されます。

研究人材のためのキャリア支援ポータルサイトJREC-IN Portal:
<https://jrecin.jsseek/SeekTop>



話題 研究開発戦略センター(CRDS)

JST研究開発戦略センター(CRDS)が 異分野融合型研究に関する報告書を公開

JST 研究開発戦略センター(CRDS)では、昨今世界的に注目される「異分野融合型研究」に着目した報告書『Beyond Disciplines — JST/CRDSが注目する12の異分野融合領域・横断テーマ(2018年)』を発行、公開しました。

本書では「融合」の考え方を紹介するとともに、「データ駆動型研究開発」、「物質・資源循環システム」、「バイオ材料工学」、「複雑社会における人間の意思決定を支える情報科学技術」、「生命現象に迫る革新的計測技術」、「融合を促進するR&Dインフラ・リソースのプラットフォーム」など、具体的な研究テーマや研究システムの事例を紹介します。さらには、融合を考え、推進する上で参考となる国内外の制度やプログラムの

事例も紹介しています。

科学技術を通じて現代のさまざまな問題と向き合うには、これまで個々に発展してきた学問体系を越えて新しい分野を定義し取り組む、または複数分野の連携により新たな融合領域を生み出して取り組むことが求められています。

今後どのような異分野融合領域、横断テーマが求められるのか。本書を通じて、研究者や技術者に限らず、政策立案者、政治家、企業人、学生などへ広く問いかけます。

報告書は下記URLよりダウンロードできます。

https://www.jst.go.jp/crds/pdf/2018/RR/CRDS-BEYO_ND_DISCIPLINES-2018.pdf

